

大雨に備えて土のう集積場所の確認を

問 防災課地域防災係 ☎95-9875

大雨などによる浸水を防ぐために、市内29か所に土のうを集積しています。自宅などが浸水する恐れがあるときに自由に使えます。家の中まで浸水する恐れがあるときは、市内各所に集積してある土のうを積んでください。土のうの持ち運びは個人で行ってください。近所の人などに声を掛けて協力して行いましょう。



土のうの積み方

1. 土のうの口の部分を家側、底の部分を水側とし、密着させて並べます。
2. 数段重ねて積む場合は、すきまに土を入れて踏み固めます。補強のため内側に控え土のうを積むか、くいを打ち込むと強化できます。
3. 玄関だけでなく家の床下通気口にも忘れずに土のうを積みましょう。

集積場所

地区	場所
新川	羽久手公園駐車場、名鉄三河線新川鉄橋北、久沓公園、消防団第1分団会館
中央	中山ゲートボール場、中山町ちびっこ広場、幸町信号交差点南東、保健センター第2駐車場、尾城公園
大浜	市役所駐車場、大浜公民館、中町防火水槽、消防団第2分団会館
棚尾	雨池防災倉庫、栗山防災倉庫、ものづくりセンター、志貴崎公園、棚尾ふれあい館、消防団第3分団会館
旭	日進公民館、広藤園南、城山住宅、旭町防災倉庫、消防団第5分団会館
西端	宮下住宅、応仁寺駐車場、神田町防災倉庫、消防団第6分団会館
一	碧南消防署

災害そのとき どうなるの??

水の備蓄・災害時の給水

問 水道課給水業務係 ☎95-9914

市では、県の浄水場から送られてくる水を市内の配水場で一旦受け取った後、市全域に水道水として届けています。この配水場は震度6以上の地震（揺れ）を感知した場合、緊急遮断弁が閉まる場合があります。緊急遮断弁が閉まると市全域で断水になります。断水後は、配水場に確保した水により応急給水を実施しますが、開始には一定の時間がかかります。



ホームページID
5260



家庭で水を備蓄しましょう

生命維持のための必要最小限の水は、1人1日3ℓとされています。災害時に備え、飲料水は最低でも3日分の備蓄が必要と言われていましたが、近年では大規模災害時対策としては7日分が必要と言われています。災害時にも取り出しやすい場所の数か所に分けて保管しましょう。

水道水を、清潔なポリタンクなどで直射日光が当たらない風通しの良い場所で保管した場合、飲料水としての保存期限は3日が目安です。それ以降は、トイレなどの生活用水として利用してください。飲料水として備蓄する3ℓに生活用水は含まれていません。飲料水とは別に生活用水も備えましょう。

災害時の給水

道路の被災状況などにより避難所への運搬給水、応急給水栓からの給水が可能と判断した場合、配水場に確保した水により応急給水を開始します。1人1日3ℓまで受け取れるので、給水袋、ペットボトル、ポリタンクなどの水を入れる容器を準備しておいてください。発災から15日目以降をめぐりに県からの送水が再開される見込みです。送水再開後、市は通水確認などを行い、破損した水道管を順次復旧していきます。災害時の応急給水については、市ホームページを確認してください。

